

～特典 その2～(記事)

【お金に抱く思いに注目！】

そこに運命転換の隠されたキーがある】

上記の音声セミナー、いかがでしたか？
少し、難しかったかもしれませんね。

そこで、
あなたが「豊か」になるために
もう少し切り口を変えて、
「お金」に関して、あなたに
気づいてほしいことを述べます。

今後、副収入を得ていく際の、
心の準備となる貴重な情報です。

あなたが「お金」と聞いて、
抱くイメージはどんなものですか？

「欲しい！」
「あれば好きなモノが買える！」
「豊かになれる」と
ポジティブに思う反面、



一方で、両親から過去に
「我が家には金がない。
無駄遣いは許されない。
手にした金はできるだけ節約して
貯蓄に回しなさい。」とか、



「あなたはしっかり勉強して、
いい学校、将来は稼ぎのよい
安定した会社を目指しなさい」
(学歴信仰は、こうやって洗脳されます。)

等と小さい頃から
さんざん言われてきた
記憶はございませんか？

あるいは、
欲しいモノが買えずに貧乏を
呪ったことはありませんか？
(今では、生活費のやりくりが
しんどいとか……)



「金さえあればなあ、もっと
欲しいモノを買えれば幸せに
なるのになあ」

「昔、近所の裕福な子は、
好きなゲーム機器や洋服・お菓子を
買ってもらえていたのに、



我が家は貧乏で、買ってもらえず
いつも我慢ばかりしていた。」
と、いう記憶はございませんか？

さらには、
一昔前の TV 時代劇で
悪代官と大商人が組んで、
ずる賢く不正にお金を稼ぎ、
私服を肥やしているシーンや、



たまに政治家や事業を営む人が
収賄・脱税等で
逮捕されるニュースを見て
お金に対して
以下のイメージを持ってませんか？

「金持ちの豪邸を見たことがあるが、
自分にはとても買えない。
こんな豪勢なものを買える人達って、
きっと裏で悪いことをしているから
がっばり稼いでいるんじゃないの？」



あるいは

「世間の大多数の人間は、
真面目にコツコツ働いても
生活が楽にならないのは
金持ちの連中が弱者から
搾取しているからだ。」

「よって、金持ちと聞くと
うらやましいと思う反面、
とても汚いイメージがある。
しかもお金は怖い。
よって、持ちすぎはよくない。」



また別の場面では
「消費者金融に手を出して

自己破産した知人がいる。」



「借金苦のあげくに
飛び降り自殺した人までいる。
やはり、お金は怖いな。」



といった、
ネガティブなイメージです。

こうして、
「欲しい」と思いつつも
無意識では「欲しくない」と
お金に対して矛盾する観念が
あなたの中に2つ
併存することになります。

いかがでしょうか？

ところで、
本田健さんのベストセラー
「ユダヤ人大富豪の教え」を
あなたはご存じでしょうか？
50万部以上売れている
ロングセラーでもあります。

その書籍に登場する
大富豪・ゲラー氏はこう言います。
(非常に良い知恵を数多く
提言しているのでご紹介します。)

「普通、人はお金を欲しが
る。
けれども、同時に無意識に
では
欲しくないとも思っている。
このことがお金に関しての
喜劇と悲劇を生んでいると
私は思うのだ。それでは、
アクセルとブレーキを
同時に踏むようなものだ。」



それらの観念は、小さい頃からの

様々な体験や情報を、
吹き込まれて形成されたもの
であると気づいて欲しいのです。

実は私もかつて、そのような
イメージを持っていた一人です。

ここまででお金に対して
どんな印象・観念があるか
「言われてみればそうだ」
「確かにそんな思いや感情が湧く」
と気づいたら、一歩前進です。
(ふだん、なかなかそのことに
気づかないのですから。)

お金に対して
「家族をかき回すほどのパワーがある」
「ローンで身を滅ぼした知人がいる。
だから、金は怖い。」
「金は汚い、どうせ金持ちなんて・・・」
というのは客観的事実ではないのです。

そんな色眼鏡で見ていたのは
実は、自分自身であったのです。



では、本当のお金の正体は、
どういうものでしょう？
答えは以下の通りです。

- (1)お金は善でも悪でもなく、中立のもの
- (2)お金は売買という行為をする時に
使う単なる交換手段・ツール

このことを、肝に銘じて欲しいのです。
本来、お金には色も何もないのです。

もしも、
「お金って怖いよね。」
「金持ちって汚いよね」
「金でいつも両親は苦労していたなあ。」
などど、
お金のことでネガティブな
言葉や映像が浮かんだら、

まずは
「それは客観的事実ではないのだ」

「お金にそんな印象があるのは
過去の自分の体験や記憶が、
そう思うようにさせているんだ。
お金は本来、中立。単なるツール」
と、自分に言い聞かせましょう。

また、ついつい
「お金さえ有れば、幸せになれるのに」
「ああ、今月も苦しいなあ」
と考えてしまう時、
この言葉の裏には
「今、自分には金がない。
満たされていない。
不足している。」という
ネガティブな観念が
隠されていることが多いです。

それに気づくことも重要です。

「お金に対してネガティブな記憶や
イメージを無意識に持っている」
「満たされていない。不足している。」
という観念・思いが
あなたの中である限り、
「思考には現実化するパワーがある」
という法則によって、
あなたからお金が遠のいてしまい
「満たされず、足りない」現実が
あなたの前に実現してしまうのです。

**実はあなたが
副業に励もうと考えるに至った、
生活費の不足・今の苦しい状況は**

**あなたの、お金に対する
ネガティブな無意識の思いが
現実化した結果である
可能性があるのです。**
(その可能性は結構、高いです。)

繰り返しになりますが、

思考や言葉に、
あなたの思いを反映した
現実を立ち上げるパワーが
備わっていることを認識して、
ネガティブな思いや考えを、
(それが過去の自分の体験から
きているものであれば、)
できるだけ心の中から手放し、
これからは口に出さないことが
「豊か」になるためにとても大切です。

これからあなたが、
副収入を得ていく際に、
あるいは今後の人生で
それが重要な姿勢となりますので、
ぜひ覚えておきましょう。

なお、
最初の音声ファイルにつき、
よくわからなかった方は、
上記の記事を読んだ上で、
あらためて
最初の音声を聞いて頂ければ
理解が深まると思います。